

令和3年度第5回川崎市子ども・子育て会議 計画推進部会 議事録

■ 開催日時

令和3年10月18日（月）18時30分～

■ 開催場所

ZOOMによるオンライン会議

■ 出席者

（1）委員

村井部会長、一瀬委員、柴田委員、丹野委員、坪井委員、芳川委員

（2）事務局（こども未来局企画課）

川戸課長、浅水課長補佐、北村担当係長、筒井職員

（3）その他関係課

（児童家庭支援・虐待対策室）大原担当課長

■ 配布資料

資料1 第2期川崎市子ども・若者の未来応援プラン（素案）

参考1 川崎市子ども・子育て会議計画推進部会委員名簿

参考2 川崎市子ども・子育て会議計画推進部会行政出席者名簿

参考3 川崎市子ども・子育て会議条例

参考 川崎市子ども・若者の未来応援プラン

参考 川崎市子ども・若者の未来応援プラン第6章改訂版

参考 川崎市社会的養育推進計画

■ 傍聴者

0人

1 開会

- ・事務局あいさつ
- ・次第、資料、定足数（部会の成立）確認

※摘録につき「である」調で記載しています。以下、ポイントを抜粋して記載。

2 議事 1 「第 2 期川崎市子ども・若者の未来応援プラン（素案）」の策定について

資料 1 に基づいて事務局から概要説明。

《主な質疑等》

- 委員 地域と具体的にどう連携・協働するのかの川崎独自の視点とか施策事業等があったら、包括的にお答えいただけないか。
- 事務局 54ページの「計画期間における方向性」の中で、「子育てを社会全体で支える」を掲げ、特に、保育・子育て総合支援センターでは、個別の子育て家庭のニーズを把握し、当事者の目線に立った寄り添い型の相談・情報提供を行うとともに、地域の子育て支援資源の育成や地域の関係機関との連携・協働のネットワークづくりを行っていくことになる。
- 委員 施策 3 の部分で具体的な施策を見ていると、あまり企業連携という言葉が出てきていない気がするが。
- 事務局 御提案については、家庭教育事業において、企業等の連携で様々な事業を充実させるというところで、企業等というところを記載している。教育委員会とも調整しながら、さらに表現等については検討させていただきたい。
- 委員 施策 6 「子どもの育ちの基盤となる保育・教育環境の充実」における G I G A スクール構想は国の方針でもあるのか。
- 事務局 G I G A スクール構想は、国の方針に基づいて、川崎市が独自に内容を加え、かわさき G I G A スクール構想というものを組み組んでいる。
- 委員 スクールガード・リーダーや地域交通安全員という、個別名称が出てくるが、注釈といった用語説明はあるのか。
- 事務局 所々に注釈として用語説明を入れているが、不足している部分もあると思われるので、再度確認する。
- 委員 2 章のデータにおいて、分類Ⅰと分類Ⅱが似たような傾向を示していて、分類Ⅲになると、問題を抱えているという子が減るというような傾向があるので、分類Ⅰや分類Ⅱに対しての支援や取組を明確にして記載したほうがよいのではないか。
- 事務局 主に施策 7 ～施策 9 が、該当している部分である。
- 委員 分類Ⅰや分類Ⅱの世帯の家計を痛めることなく、その子たちも含めて支援する機会が与えられていることが明示されていればよい。
- 事務局 御意見を踏まえて記載を加えていきたい。
- 委員 民生委員児童委員と主任児童委員の役割と連携については、全国的な課題とされているが、本プランでは、そこについては触れないのか。

○事務局 民生委員の担当をしている健康福祉局と内容について確認を行い、不足していれば追記したい。

■ 閉会

・事務局あいさつ

以上